

## 令和7年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立池上小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

・区の学習効果測定では、1問を除き全ての項目において、目標値、区の平均、全国平均値を大幅に上回り、英語専科とALTを活用した授業展開の効果が感じられる。どの観点も総じて良く、平均的に力を付けていることが伺える。特に、全国的に課題である思考、判断、表現の力や活用力が昨年度と比べても、区や全国の平均と比べても大幅に伸びている。必然性のある活動や場面設定(目的、場面、状況)を考えたペア活動、発表等を多く設定してきた本校の授業プランが、基礎力だけでなく、覚えたことを活用する思考力、判断力も身に付ける成果となって現れたと言える。また、昨年、課題となった「書くこと」においても、日常的に、単語だけでなく文章で書く習慣を増やしてきたことが成果として現れた。

#### (2) 課題

・目標値を下回った問題は1問のみで、聞くことの基礎問題、「I ride unicycle on Sunday.」のような文を聞いて「一輪車」の絵を選ぶ問題であった。誤答の多くは「自転車」を選んでしたことから、「～サイクル」までは聞き取れていたと思われる。最後に聞いた言葉の印象が強くなり、途中の詳細を覚えていなかったことが理由と思われる。このことから、短文の聞き取りばかりではなく、多少長い文や、文末ではない部分を聞き取るような課題も必要と考えられる。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率(経年比較)

・6年次のみの実施のため、記載なし。

#### (2) 分析(観点別)

第6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・1問を除いて全ての項目において目標値、区、全国平均を上回り、正しい知識・理解が身に付いているといえる。	・目標値、区の平均、全国平均を全て大幅に上回り、十分な力が身に付いている。	・目標値、区、全国平均を全て上回り、外国語の学習への意欲、関心の高さが感じられる。

### 3 授業改善のポイント(観点別)

中、高学年については、これまでの授業プランで高い効果が見られるので基本的に方針は継続。太字、下線部分が改善のポイント。低学年については本年度より開始のため追加。

#### (1) 低学年(本年度より追加)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ <u>歌やゲーム</u> などを通して、 <u>外国語の音声やリズムに慣れ親しむ活動</u> を多くし、できるだけ <u>たくさん</u> のインプットの機会を保障する。	・児童にとって <u>身近で具体的な場面設定</u> をし、 <u>相手意識と目的意識</u> をもった <u>コミュニケーション</u> を図れるようにする。	・ <u>ALTの英語を聞く時間</u> を十分に確保し、ゲームなどを通して児童の <u>英語への抵抗感</u> をなくして <u>楽しんで学習活動</u> に取り組めるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・歌やチャンツ、ゲームなどを通して、外国語の音声やリズムに慣れ親しむ活動は維持しつつ、文字も併せて提示し文字の形に見慣れる機会を多くする。</li><li>・アルファベットの大文字小文字を正しく書けるよう、毎時間、少しずつ書き写したり、なぞったりする時間を設定する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・児童にとって身近で具体的な場面設定をし、相手意識と目的意識をもったコミュニケーションを図れるようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・聞く活動を十分に確保したゲームなどを通し、児童の英語への抵抗感をなくし、自信をもって学習活動に取り組めるようにする。</li></ul>

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・基礎的な語彙を定着させた上で<u>複数の内容の聞き取りから判断を要する課題や文末以外を聞き取るような課題を工夫</u>する。</li><li>・文字や単語を四線上に書くことと合わせて、文単位で語順も意識して書き写す練習を重ねる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分たちのことや身近なことについて、例文を参考に書き写す活動を多く確保する。</li><li>・必然性のある活動や場面設定をし、目的、場面、状況を考えたコミュニケーションを設定する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・音声を中心に慣れ親しみ、外国語を通じて自己表現したり、他者を理解する中で自己調整に生かしたりしようとする態度を養う。</li><li>・ペア活動や発表の時間を<u>より多く</u>取り入れ、他者と伝え合うことの楽しさを実感できるようにする。</li></ul>